

都市再生整備計画(指標目標値の設定根拠)

市町名	小牧市
地区名	小牧線沿線地区

地区の目標

■大目標	安全・安心で活気に満ちたまちづくり
□小目標	多様なニーズに対応した良好な住環境の形成による人口定着
	市の玄関口にふさわしい魅力あるまちづくり
	都市基盤整備による安全・安心なまちづくり

目標を定量化する指標

指標	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値
①安全・安心満足度	市が実施したアンケート調査で地区内の小学校区に居住する住民が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合	安全・安心なまちが形成されているかどうかを示す指標	54.3% (H21)	65.7% (H26)
②居住者数	10月1日現在の地区内人口(市の統計データの字別の人口に基づき算出)	人口定着が進んでいるかを示す指標	56,923人 (H20)	58,200人 (H26)
③中心市街地の魅力度	市が実施したアンケート調査で地区内の小学校区に居住する住民が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合	小牧駅周辺が市の玄関口として魅力的になっているかを示す指標	20.4% (H21)	23.9% (H26)

目標値の設定根拠

指標	根拠
①	本地区内では、市全体と比較して、1%程度「安全・安心でいきいきと暮らせるまち」と回答している割合が高い。 小学校区毎にその満足度を比較してみると、本地区内においても、54.3%～61.9%とその差は5%程度生じている。 今後は地域全体として安全安心と感じてもらえるようにしていく必要があり、そのための取組として、道路整備に合わせた電線類の地中化や公民館等の整備を行うことにより、「安全・安心満足度」を向上させる。 事業完了時点(H26)には、事業の実施状況及び今後の実施見込みを考慮し、65.7%とすることを目標とする。
②	当該指標については、H20年度までは概ね1%程度の増加率で推移してきたが、H20年度からH21年度にかけては0.2%程度の伸びに留まっている。この変化は、景気悪化等の経済情勢の要因によるものが大きいと考えられ、今後急速に好転することが考えにくいことから、対策等を講じない場合、直近の伸び率で推移するものと考えられる。 一方でまちづくり交付金により、H17～H21の区画整理事業費合計の5割程度をH22～H26のまち交期間に実施することができるため、H26にはH16～H21の地区内人口増加数の5割程度に相当する1,200人程度増加するものと考えられる。これを踏まえて、平成21年度時点の人口をこれまでの増加トレンドから約57,000人と推計し、そこから約1,200人の増加をめざし、平成26年度時点の居住人口58,200人とすることを目標とする。
③	本地区内では、市全体と比較して、2.5%程度中心市街地に魅力を感じている割合が高い。 これは、実際に中心市街地及びその周辺に居住していることで、その利便性や快適性を享受していることが要因であると考えられる。 しかし、その差は少なく魅力を感じている人も2割程度しかない。 そこで、本地区では今後、小牧駅前広場や周辺道路の再整備により、目に見える魅力を高めることで向上を目指すものであり、事業の実施状況及び今後の実施見込みを考慮し、23.9%とすることを目標とする。